

# 第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

授業者 竹内 優

1. 日時・場所 11月18日(火) 教室
2. 学年・組 6年1組
3. 単元名 「私たちのまち！港南台プロジェクト～卒業制作ミッション～」
4. 単元目標

港南台のまちの魅力をウォールアートで表現する活動を通して、地域の特徴やよさを見直し改めて港南台のまちに愛着がもてるようにする。また、プロのアーティストと関わることで作品に込める思いや仕事に対する考え方などに気づき、一人一人が絵で伝えたいまちの魅力について考え、港南台のまちの一員として学校への感謝やまちを愛する気持ちを育むことができるようにする。

## 5. 学習指導計画

児童の実態	材の価値と教師の意図
<p>本学級の子どもたちは、学習の課題が分かると、自分たちの持っている力で取り組もうとする。一方で、課題を設定し活動計画を立てたり、課題解決方法を見出し、焦点化して調べたりすることは少しずつできてきている。また、話し合い活動では、話し合いをまとめていく上でよりよい方法を探し全体化していくことができる児童も数名いるが、全体的に見るとまだまだ難しい実態である。その都度、前向きな言葉かけに変換するなど、教師の言葉かけが必要である。</p> <p>本単元では、社会科の政治単元で学んだ子育て支援についての学習から、港南台のまちの子育て支援を見つめたことからスタートしている。自分たちが育ってきた環境を振り返ることで、これまで育ってきた環境、出会ってきた人、体験してきたことなどを考えながら、港南区地域子育て支援センター「はっち」の見学し、港南区第4期保育福祉計画についての調べ学習などを通して、港南台のまちの魅力を探究している。</p> <p>今回は、在校生の児童に港南台のまちの魅力や三小の魅力のアンケートを実施し、外壁のデザイン案を考えていく。本物のアーティストさんと連携して活動を進めていくことで、学校に残す重要性和思いをしっかりと受け継ぐ責任を感じながら活動してほしい。</p>	<p>【材の価値】</p> <p>○本校には、卒業制作が数多く飾ってある。保護者の中には、卒業制作に携わった人もいる。このことから、卒業制作に込めた思いや在校生に向けた思いなどを知ることによって、卒業学年である自分たちも港南台地域の方や在校生に向けて、まちの魅力を表現するためにウォールアートを表現方法として考えた。また、創立50周年に向けて第一歩となるような活動としたい。</p> <p>○3回の出前授業で関わってくださるゲストティーチャーの方や、ウォールアートが描けるように壁を整えてくださる塗装業者の方など、多方面で子どもたちと関わりをもっていく。子どもたちが単元の中でその道のプロと実際に触れ合う価値を大切にしたい。</p> <p>【教師の願い】</p> <p>港南台のまちの特色を様々な方向から調べることで、何となく自分たちのまちに愛着をもっているのには様々な理由がきちんと存在していることに気付いてほしい。</p> <p>学習が進む中で、自分たちの思いも大切にしながら学習に様々な人に関わってもらうことに気づき、自分たちだけが満足するのではなく、他者の意見を取り入れながら学んでいく力を身に付けられるようにしたい。また、大きなプロジェクトということで、子ども達一人一人が自分事として捉え、最後まで協力して活動を行う責任感を育成していきたい。</p>
手立て	ESD の視点
<p>○問題解決的な学習過程に繋がるような掲示物を活用した授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示資料で、現在学んでいることを意識できるようにし、子どもたちの思考を助けるものとしたい。</li> </ul> <p>○一人一人の思いを大切にしたい対話的な授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の意見を繋ぎながら学習を進めていきたい。発言が難しい児童に対しても、グループでの発言が促す言葉かけを行う。</li> </ul>	<p>【目標を達成するにふさわしい探究課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「港南台のまちの魅力を探ることを通して、地域や在校生に感謝の気持ちや50周年に向けての思いを表現する」</li> <li>・「港南台のまちと私たちとのつながり」</li> </ul> <p>【持続可能な社会づくりの概念】</p> <p style="text-align: center;">多様性                  連携性</p> <p>【ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的・総合的に考える力</li> <li>・他者と協力する態度</li> <li>・進んで参加する態度</li> </ul>

6. 単元構想図

単元名 「私たちのまち！港南台プロジェクト～卒業制作ミッション～」

課題の設定	<p>【1 学習の立ち上げ】</p> <p>○港南台のまちを見つめ、どんな総合学習にするか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの歴史や学校の歴史は3年生で学んだね。</li> <li>・港南台のまちの魅力ってどんなところだろう。</li> <li>・社会科の学習で子育て支援について調べているけど、これも港南台の魅力かな。</li> </ul>
情報の収集	<p>○どんな総合学習にするか考えよう② 三小にたくさんある卒業制作を総合に生かせないかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭、正門の壁、体育館、駐車場、特別教室、廊下などに、卒業生のたくさん作品があるね。</li> <li>・卒業制作からは、見ているだけでも伝わるものがあるね。</li> <li>・どうやって作ったのだろう。また、どのような思いが込められているのだろう。</li> <li>・いくつかの作品に携わった保護者の方もいらっしやるよ。</li> </ul>
整理・分析	<p>○「港南台はっち」を見学して、港南台の魅力を見つけよう。【社会科：私たちのくらしと政治】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はっち【HEACH】の名前の由来は、「人生のスタート」という意味で、区民に応募してこの名前が決まったんだ。</li> <li>・様々なイベントがある：パパ DAY など</li> <li>・18年前に国の事業により、港南区にもできたらしい。</li> </ul> <p>★子どもも大人も互いに安心してらせる子育て支援がある港南台！★港南台の「まちづくり」の仕組みは？</p>
まとめ・表現	<p>【2 まちの魅力に気付く】</p> <p>○港南台地区の地域福祉保健計画「ひまわりプラン」について調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4つのアクションと12の取組がある。</li> <li>・「こなちゃん」という区のマスコットキャラクターがいる。</li> <li>・様々な世代や地域団体が「つながる」というキーワードがある。</li> <li>・大人も子どもも安心して、遊べて、話せる環境をつくろうとしている。</li> </ul> <p>○「ひまわりプラン」について佐藤さんから教えてもらおう。【港南区福祉保健課事業企画担当：佐藤さん】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だれもが住み慣れた地域で安心して健やかに生活できるよう、互いに支え合える関係の充実を目指して区民・活動団体・行政などが協力して地域をみんなで良くしていくための計画。</li> <li>・知る・つながる・できることをやる・支え合う がキーワード。</li> </ul>
課題の設定	<p>○港南台の魅力を伝える表現方法を話し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・港南台のよいところ、在校生への感謝の気持ちが伝わる表現方法は？</li> <li>・ポスター作り？絵？屋台？オリジナルキャラ？ もっと大きなプロジェクトにしたい！</li> </ul> <p>○活動計画を立てよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校のみんなに魅力を聞いてみないとね。</li> <li>・校長先生への報告も必要だね。</li> <li>・全校のみんなへ共有（動画作成）</li> <li>・自分たちが伝えたい思いをデザインしよう。</li> <li>・金額面：ペンキ代、どこで購入するのか、作業手順など 様々な心配事も調べていこう。</li> </ul>
情報の収集	<p>【3 ウォールアートを知り、デザインを考える】</p> <p>○ウォールアートプロジェクトを始動しよう！</p> <p>① 活動計画を立てよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長先生に、総合学習でどんな活動をしていきたいのか、心配なことも伝えよう。</li> <li>→自分たちだけではなく、全校のみんなにもアイデアをもらう。学校の壁に描くということに責任をもって、全員でやり遂げるといった思いを高めて、自分たちだけでどうにかせず、専門家にも聞けるようにする。</li> </ul> <p>② 全校のみんなに伝える内容を整理して、ショートムービーを作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合学習の目的、場所、アイデアを募集することをどの学年にも伝えるように作ろう。</li> <li>・全校のみんなが考える港南台の魅力と思いを募集するためのアンケートも作成しよう。</li> <li>・港南台のまちの魅力は自分たちで見てきたことや調べてきたことをもとにして自分たちで考えられる。「感謝」と「つながり」は三小の魅力とも重なる。三小の魅力の方が全校のみんなは考えやすいよね。</li> </ul> <p>③ 全校のみんなから集めた三小への思いをもとにデザインを考えよう。（本時）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校のみんなや地域の方が考える港南台の魅力が伝わるのは、どんなデザインか考えて実際に描いてみよう。実際に次回から描けるかな？プロのアーティストさんにも関わってもらおう！</li> </ul>
整理・分析	<p>○高橋さんから壁画について教わろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの思いと全校の思いが合ったデザインを高橋さんにも見てもらおう。</li> <li>・高橋さんがアートにかける思いなどを聞き、描き方のポイントを聞こう。</li> </ul> <p>○実際に決定したデザインを描こう。</p>
まとめ・表現	<p>【4 ウォールアートの完成と振り返り】</p> <p>○活動のまとめをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に関わってくださった方へ感謝の気持ちを伝えよう。</li> <li>・どんなことを学んでどんな力がついたかふりかえろう。</li> </ul>

「学校と地域を結ぶ」四ツ切公園前の外壁に絵を描いて、港南台の魅力を伝えよう！卒業制作ミッションを計画しよう。

## 7. 本単元における評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○まちづくりや地域活性化のために取り組んでいる人々は、組織をつくったり、区役所等行政との連携を行ったりするなど、思いや願いの実現に組織的に取り組んでいることが分かる。</p> <p>○ウォールアートが自分たちの調べた魅力や込めたい思いを絵で伝える表現方法であることが分かる。</p> <p>○アーティストから教えてもらったことや感じたことを絵や言葉などで表現することができる。</p>	<p>○まちづくりに関する願いの実現に向けて課題を設定し、解決への方法や手順を考える。</p> <p>○課題の解決に向けて、比較、分類、関係づけるなどして、情報を整理・分析する。</p> <p>○自分の思いや考えをまとめ、相手に応じて適切な方法を選んで伝える。</p> <p>○他者と関わったり体験したり、調査したりしながら壁画について必要な情報を集める。</p>	<p>○港南台のまちの特色やよさは何だと言えるかを考えたり調べたりしたことを基に、自分が地域の一員であることを自覚し、地域のためにできることを実行しようとする。</p> <p>○自分たちがまちのためにできることは何かを主体的に考えることができる。</p> <p>○全員で問題解決に向けて自分のよさを発揮したり、互いの良さを生かし合ったりしながら協働して活動する。</p>

## 8. 本時の目標

各クラスにお願いしたデザインアンケートの結果を整理・分析することを通して、自分たちが伝えたい思いと比べながらウォールアートのデザインを決めることができる。

## 9. 本時の展開

予想されると子どもの活動と内容	指導の手立て(・) 評価規準(★)
<p>○自分たちの活動に対する思いや願いを確認し、本時の課題を確認する。</p>	<p>・掲示物を活用して学習の流れを確認する。</p>
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">全校のみんなからももらったアイデアをもとに 「三小の魅力」のデザインを決めよう。</p>	<p>・前時でアイデアを整理しておき、それぞれが思いをもって取り組めるようにする。</p>
<p>○全クラスから集めたアンケート結果を自分たちが大切にしたいキーワードに沿って整理・分析する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きく大切にしたいキーワード 「三小の魅力」「つながり」「感謝」</li> </ul> <p>自分たちの思い：これまでの活動を通して気付いた港南台の魅力の内容を入れたい。 港南区のシンボルの「ひまわり」、港南台の周辺の団地名にもなっている「鳥」、「空」、「虹」。 在校生との交流で感じた人の温かさを入れたい。</p>	<p>・意見が出しやすいように、3・4人のグループで話し合いを行う。</p> <p>・グループで出た意見を発表する分担をするよう指示を出す。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラスのアイデア 「みんなが仲良しなところ、あいさつをしているところ」、「にじびよ」、「〇〇周年」、「ぼよちゃん」「校歌」「自然」など</li> </ul>	<p>★全校からのアイデアを自分たちの思いとすり合わせながら比較・分類している。(思考・判断・表現)</p>
<p>○各グループで考えたことを出し合い、デザインを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが考えていたことと似ているね。</li> <li>・いろいろ考えていたけど、校歌に含まれているね。</li> <li>・自分たちが実際に書いた港南台のまちの魅力と合体させるとどうなるかな。</li> </ul>	
<p>○高橋さんからの制作のポイントをもとに、実際にラフ画を描いてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラフ画を何パターンか描いていく。</li> <li>・近くで見ただけではなく、遠くで見ること大切。</li> </ul>	<p>・事前にプロの方からデザインのアドバイスを聞いておき、資料を提示する。</p> <p>・決定したことをもとに、実寸大の模造紙もしくは、各自のタブレットにラフ画を描き進められるように言葉かけをする。</p>
<p>○次時の確認をし、振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・決定したことをもとに次回の活動の見通しをもつ。</li> <li>・ラフ画をもとに次回の活動の見通しをもつ。</li> </ul>	

②事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立港南台第三小学校

「港南台プロジェクト～卒業制作ミッション～」

時数	場所	概要	活動記録 (写真)	対象者の反応
2	教室	<p>【1 学習の立ち上げ】 ○港南台のまちを見つめ、どんな総合学習にするか考えよう。</p> <p>・中学年で学んだ港南台のまちの歴史や、学校の歴史を振り返り、「港南台のまち」に着目して学習を進めていくことを共有した。</p> <p>・社会科の子育て支援についての学習と関連付け、港南台の魅力を調べていく計画になった。</p>		<p>○港南台のまちの魅力については、普段生活していると当たり前になっている部分があるが、自分たちで調べていくことで新たなことを発見したいと意欲を高めていた。</p> <p>○住みやすさ、商業施設が駅前に集中している、公園が多いなど主な魅力は出てきたが、それ以外にもあるのなら知りたいと言っている児童もいた。</p>
2	教室 校舎内	<p>○三小にくさんある卒業制作を総合に生かせないかな。</p> <p>・校庭、正門の壁、体育館、駐車場、特別教室、廊下などに、卒業制作が多くあり、卒業制作から感じ取れる卒業生の思いを考えた。また、卒業制作の年月日を見て、保護者が関わっていることを知り、インタビューすることを計画した。</p>		<p>○校内にある卒業制作を見て、制作方法や人数など、様々な疑問が出てきた。保護者が本校の卒業生で、実際に卒業制作に携わったことがあることに気づき、保護者にインタビューすることを決めた。</p> <p>○インタビューの結果、当時は制作する物が決まっていた、港南台駅にお願いに行くなど地域とつながりながら学習していることが分かった。自分たちの学習も同じようにやっていきたいと考えるようになった。</p>
4	港南台はっち	<p>○「港南台はっち」を見学して、港南台の魅力を見つけよう。</p> <p>・港南台の子育て支援政策の実際を見てみた</p>		<p>○実際に見学に行くことで、施設の設備、その時に利用していた親子の様子、場の雰囲気を感じることができてよかったと感想を書いている児童が多かった。</p>





	<p>○活動計画を立てよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動計画を立てる。</li> <li>・校長先生への趣旨説明と全校への周知とアイデア募集。</li> <li>・デザイン作成。</li> <li>・デザインの構成に関わる課題。</li> <li>・費用面、作業手順などの課題。</li> </ul>	 <div data-bbox="518 526 1077 884" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【計画】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 校長先生に許可をもらいに行く。</li> <li>② キーノートなどを活用して在校生に共有する資料作成。</li> <li>③ イラスト構図案を考える。</li> <li>④ 画材の金額面を調べる。</li> <li>⑤ ウォールアートの下書きの仕方を調べる。</li> </ol> </div> <div data-bbox="853 896 1093 1299" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「自分たちだけではなく、全校のみんなにもアイデアをもらう。学校の壁に描くということに責任をもって。全員でやり遂げるといふ思いを高めて。自分たちだけでどうにかせず、専門家にも関わってもらえるように。」</p> </div>	<p>○ウォールアート完成までの活動計画を決め、役割分担をしてグループで活動した。在校生に向けての資料を動画でまとめる活動では、学習してきたことを伝えることでより責任もって最後まで活動していくことの大切さを学んだ。</p> <p>○ウォールアートについて、費用、近所にペンキ屋さんはあるか、など様々なことを調べた。</p> <p>○学校に残すものであれば、校長先生に説明を聞いてもらい許可を得ること、全校への周知、また、アイデアを募集することなど独りよがりな活動ではなく、在校生や、なにより、地域に目を向けた活動であることを何度も確認した。</p>
8	<p>教室</p> <p><b>【3 ウォールアートを 知り、デザインを考 える】</b></p> <p>○プロジェクトを始動しよう!</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 活動計画を立てよう。校長先生からの言葉を全体で共有し、再計画した。</li> <li>② ③全校のみんなに伝える内容を整理して、ショートムービーを作ろう。</li> <li>③自分たちで見てきたことや調べてきたことをもとにして自分たちで考えられる。</li> </ol> <div data-bbox="263 1803 502 1881" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>低学年には選択を設けたアンケート</p> </div> <div data-bbox="263 1937 502 2004" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>高学年には自由記述式のアンケート</p> </div>	  <div data-bbox="518 1534 853 1736" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>え 絵にすることで思い出せることができるし、しつこく公園をまわるとあんなに公園で遊ぶ人があんなに多かったです。絵を見て、楽しめると思いました。時間が経てば経つほど今までの思い出をみんなと共有して、全校や地域の人と振り返ることができると思っています。</p> </div> <div data-bbox="853 1310 1093 1489" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>しつこく公園をまわるとあんなに公園で遊ぶ人があんなに多かったです。いろいろな人に見てもらえると思っただけです。そして、学校と地域を結ぶ壁だからです。</p> </div> <div data-bbox="853 1512 1093 1624" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>港南台のまちにたくさんの魅力があるのは、港南区に「むまわりプラン」というまちづくりのまきりがあるおかげです。</p> </div> <div data-bbox="853 1646 1093 1960" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>こんな港南むまわりプランのキャラクターのような家が出ています。(※今回はインターネットでの画像も使っています。)</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 校長先生からの言葉を全員で共有し、自分たちの活動計画を見直した。</li> <li>② 総合学習の目的、場所、アイデアを募集することを決めた。ショートムービーを作成する中で、在校生の年齢を考えた文章表現、スライドの大きさなどを工夫し、分かりやすい内容にするためにグループで話をしながら活動していた。</li> <li>③ 在校生が考えやすいように三小の魅力について募集することを決め</li> </ol>

④在校生からのアンケートを基に、デザインを考えよう。



○全校のみんなから集めた三小への思いをもとにデザインを考えよう。

・全校のみんなや地域の方が考える港南台の魅力が伝わるのは、どんなデザインか考えて実際に描いてみよう。



た。在校生のアイデアを引き出すために、低学年用と高学年用に別けてアンケートを作成するなど工夫していた。

④在校生からのアイデアと自分たちが描きたいテーマを比べながらデザインを考えていった。話し合いでは、「校歌」を取り入れるアイデアはなかったが取り入れるといいデザインになりそう」という振り返りが多かった。また、在校生のみんなが協力してくれたことに感謝を示したり、ウォールアート制作に関する責任感をさらに強めたりして思いを高めていた。

港南区の花であるひまわり

港南台地域の団地の名前にもなっている鳥を未来が明るくなるように虹色にした。

校歌の歌詞にも入っている「虹」

校歌の歌詞に「こだまする」とあることから楽譜を虹に沿わせて大きく描いた。

三小のみんなが「なかよし」というキーワードから子どもたちが手をつないでいる絵にした。

○実際の大きさの紙にデザインを描く途中で出てきた様々な課題を高橋さんに質問していた。

1 出前授業

教室



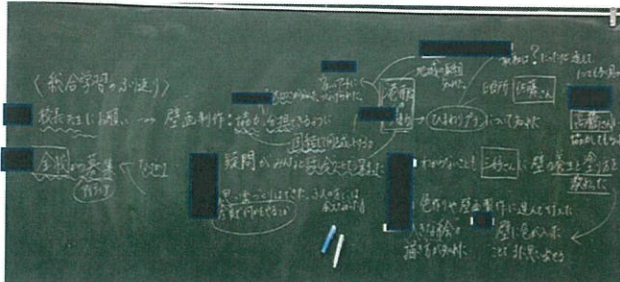
○高橋さんにデザインを見てもらい、アドバイスをもらおう。

・これまでの学習の経緯を発表し、アーティストの高橋憲助さんと一緒に活動をされている間所さんに話を聞き、アドバイスをもらった。



○「全体の構図はよい」と言われ、子どもたちは喜んでいました。高橋さんは「自分が描きたいものをイメージするが、実際に出来る作品はイメージと違うものも出来るため、それもよしとする気持ちが必要だ」と伝えて下さった。間所さんからは「アーティストだけの力ではウォールアートは完成しない。だから壁をきれいにすること、養生の必要性、準備片付けは全員で協力しないと、場が荒れてしまい怪我や作品を汚すことにつながる」と教えて下さった。子どもたちからは実際に仕事の様子を見ることで、全く知らない世界を知れてよかった、さらにやる気が出てきた、という反応が多かった。

2	外壁	<p>○壁をきれいにする作業を見学し、背景を塗って頂く。・デザインを描く前に、壁の汚れを落とし、凹凸をなくす作業を業者の三好さんにお願いし、できるところは一緒に作業をさせてもらった。</p>	  	<p>○三好さんから壁を大切に扱う事と、養生のやり方を実際の場所で教わり、実際に子どもたちで行った。凹凸をなくす作業の3日間、見学を行い、背景を塗るのは三好さんに塗り方を普段の学習とは違い、楽しみながら教わり、作業を進めていた。</p> <p>○ペンキを塗る時は息を止めて塗ると、手がぶれずまっすぐ塗れること、筆についたペンキの落とし方など細かい所まで教わった。</p>
15	外壁	<p>○デザインを下書きし、ペンキで色を塗ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下書きは薄く鉛筆の跡が付くように丁寧にを行った。</li> <li>・ペンキを塗る前に、色を作り、塗る作業を行った。</li> <li>・最終段階</li> </ul>	 	<p>○養生の修正、下書き、縁取り、色作り、塗装と役割を分担し、交代制で作業を進めた。</p> <p>○図工の作品と同じように、濃い色は最後に塗ることを忘れず、作業を協力して進めていた。</p> <p>○色作りをする際は、同じ色は日を跨ぐとなかなか同じようには作れないという注意点を忘れず、塗る範囲を確認しながら色作りを行っていた。</p> <p>○ペンキをこぼしたり、壁を汚したりなど緊急事態も臨機応変に対応し、全員で活動することの良さ</p>

	<p>で、遠くから全体を見渡し、修正箇所を丁寧に歩いていく。</p>		<p>を少しずつ実感していた。 ○全体を見渡し、修正箇所を細筆で丁寧に行い、完成した。お世話になった方々にお披露目会をすることを考えていた。</p>
<p>5</p>	<p>○【4 ウォールアートの完成と振り返り】 ○活動のまとめをしよう。</p> <p>・活動に関わってくださった方へ感謝の気持ちを伝えよう。</p> <p>・どんなことを学んでどんな力がついたかふりかえろう。</p>	  	<p>○ウォールアートが完成し、お世話になった方々にお披露目会を行いたいと子どもたちが考え、手紙を渡し、壁画の前で写真を撮った。</p> <p>○感謝を伝える会でも保護者に説明している児童もいた。</p> <p>○今回の活動で、全体で協力することの大切さを学んだという振り返りが多かった。さらに、プロの方々や区役所の方を招いての学習は6年間で初めてだったことが将来の夢につながったと話す児童もいた。</p> <p>○校長先生に許可を取りに行くことや、在校生に協力をお願いすることも初めてだったことから、結果的に色々な人たちの思いを形にできたことが大きかったと発言している児童もいた。</p>

### ③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点  
○様々な人と関わりながら学ぶ  
今回は、区役所の方、塗装業者の方、アーティストの方々に協力をお願いして実施した。それぞれの立場から学習単元に関わっていただくにあたり、それぞれの時間で子どもたちにどのような考え方を育成したい

のかを明確に伝えた。これによって、子どもたちが自分たちの活動に意味を持ち、価値を感じ、関わった人たちから課題解決のヒントをもらい、また、課題を見付け、完成へ近づけていくことができた。

(2) 実施にあたり苦労した点

○日程調整と子どもたちの思いの高まりの調整

子どもたちの思いの高まりとゲストティーチャーのスケジュールが必ずしもマッチしたところばかりではなかった。そのようなときは、完成に近づけるために必要な知識や計画の修正などを丁寧に行うことを心掛けた。そして、絵が描ける壁にするための工事費や材料費が今回の助成金で賄えて大変助かった。

(3) 児童の反応

○総合学習に対する思いの変容

導入段階では、総合学習に対する思いは、「先生が進める」という認識だった。しかし、学級の中には「大きいプロジェクトに挑戦したい」「最後の学年だから方になるものをやってみたい」と考えている児童が多かったことから、教員と子ども、そこにゲストティーチャーと一緒に学習ができることの良さを伝えていった。実際に学習過程の中盤では、校長から在校生も巻き込んでプロジェクトを始動するようなミッションを出してもらった。このことが児童の思いをより本気にしたように感じる。自分たちが在校生の時はそのような経験をしていないが、新たに自分たちがそのような学習の仕方を作っていくという子どもたちなりの使命感を感じていたように思える。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

○校内重点研究での指導案検討

プロジェクトに在校生の協力を得ることから、指導案検討では、より現実的な検討ができた。在校生の立場で、学級の児童の立場で、授業者の立場で、と、様々な視点で検討をすることにより、授業での資料、ワークシート、シンキングツールが決まっていた。校内の先生方にはとても感謝している。

○学年教諭との意見交換

チームマネージャーと学年教諭と「港南台のまちづくり」に関する総合学習のテーマを考えたときに、表現方法を急いで決めるよりも、まちの様子、政策について様々な教科と合科的に行っていくべきだと意見を交わした。そこから、区役所とのつながりは欠かせないことであり、毎年カリキュラムに位置付けていくことを意見交換した。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

総合学習は永遠の課題でもあるが、いかにして子どもたちが材と出会いその材に対して主体的に学べるように教師が仕掛けるかの大切さを実感した。そのためには、綿密な単元計画を教師が行い、子どもが解決したい課題として気付けるように意図的に毎時間のしかけを行えるかが重要だと感じた。